

## 令和4年度一般会計当初予算の特徴

### 1. 当初予算額 584億7,500万円（対前年度当初比▲1.0%）

※令和3年度当初予算額590億6,300万円

### 2. 市税収入 320億3,402万円（対前年度当初比+8.5%）

○ 主な要因は下記のとおり

- ・個人市民税 対前年度当初比 + 1.4%
- ・法人市民税 対前年度当初比 + 55.3%
- ・固定資産税 対前年度当初比 + 7.1%
- ・都市計画税 対前年度当初比 + 4.7%

### 3. 歳入予算の特徴

○ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、企業収益は回復傾向にあるため、法人市民税を増収と見込んだことなどにより、市税は対前年度当初比で増額となりました。

また、市債が、教育債の減などにより減額、繰入金が次世代教育環境整備基金繰入金の減などにより減額、地方特例交付金が新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の減などにより減額となりました。

- ・市債 対前年度当初比 ▲58.1%
- ・繰入金 対前年度当初比 ▲22.8%
- ・地方特例交付金 対前年度当初比 ▲83.7%

### 4. 財源構造

- ・一般財源比率 66.6%（+3.3ポイント（前年度当初 63.3%））
- ・特定財源比率 33.4%（▲3.3ポイント（前年度当初 36.7%））
  
- ・自主財源比率 69.7%（+2.3ポイント（前年度当初 67.4%））
- ・依存財源比率 30.3%（▲2.3ポイント（前年度当初 32.6%））

### 5. 歳出予算の特徴

○教育費が、対前年度当初比 14.7%、15億9,600万円余の減となりました。

主な要因は、小牧南小学校改築事業の減などによります。

○消防費が、対前年度当初比 14.1%、2億7,900万円余の減となりました。

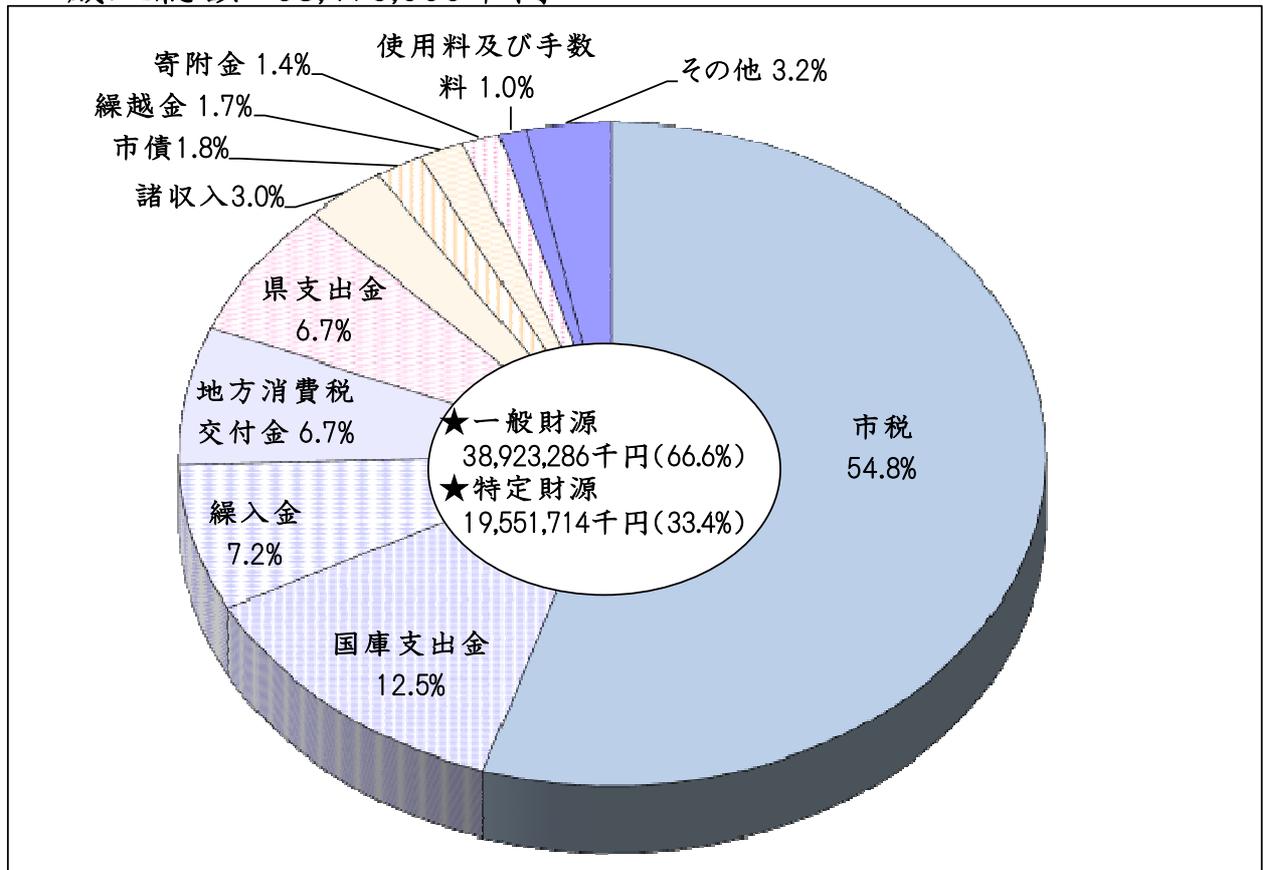
主な要因は、消防指令センター共同運用事業の減などによります。

○民生費が、対前年度当初比 5.5%、12億4,100万円余の増となりました。

主な要因は、障害者自立支援等給付事業、（仮称）第3老人福祉センター施設建設事業の増などによります。

# 令和4年度小牧市一般会計当初予算

歳入総額 58,475,000千円



歳出総額 58,475,000千円

